

音楽

小学校 第6学年

OS・ソフト等

- iPad
- 指導者用デジタル教科書
- ロイロノート、ボイスメモ
- GarageBand

<単元・題材名等>

いろいろな和音のひびきを感じ取ろう（雨のうた）

ねらい

イ短調からハ長調への和音の移り変わりによる和音の響きの違いを感じ、2つの旋律を重ねて和音の響きを生み出すためには、フレーズのまとまりに気を付けて演奏することが大切だと気づき、リコーダーによる二重奏をすることができる。

主なICTの活用方法

- ・ GarageBandによる和音の変化の聴取
- ・ ボイスメモによる自己の演奏の再現
- ・ デジタル教科書への書き込み
- ・ ロイロノートによる考えや感じ方、演奏の共有

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 器楽表現における和音の響きを感じながら、「雨のうた」の旋律にふさわしい表現について、思いや意図をもって演奏を工夫することができる。
- ・ イ短調とハ長調の和音の響きの違いを感じ、曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。

実践の概要

本教材「雨のうた」では、器楽における和音の響きを感じ取り、イ短調→ハ長調→イ短調の移り変わりを意識しながら演奏することをねらいとしている。イ短調の部分は旋律がカノンのように重なり、後半のハ長調の部分はより和音の重なりが意識できる重なり方になっている。本時は、後半のハ長調の旋律の重なり方に目を向け、二重奏であってもフレーズのまとまりを合わせることで2つの旋律が重なり合い、長調の明るい感じを生み出すことができることに気付けるようにする。そのために、フレーズのまとまりまで重なっているかを、ボイスメモで録音して自分たちで聴いたり、GarageBandの和音に合わせて演奏したりしながら聴き合い、追究していく姿を目指す。また、2つの旋律を合わせて演奏するためのポイントや見付けたことについてデジタル教科書に書き込み、ロイロノートで共有することで仲間の感じ方に触れることができると考える。

児童の学びの様子

- デジタル教科書の楽譜に、強弱や曲想、表現の仕方などで意識する点など、気付いたことを書き込み、ロイロノートで仲間と共有しながら交流することで、互いの演奏を高め合おうと協働的に学ぶことができた。
- カメラ機能やボイスメモで自分とペアの仲間が演奏する様子を録音・録画し、演奏後に確認することによって、テンポや表現の仕方などの改善点に気づき、次の演奏のポイントとして意識することができた。
- オンライン会議システムを通じて、欠席している児童もグループ交流に参加し、仲間の演奏について助言をすることができた。



指導のポイント

- ICT機器を用いて、児童が自ら学び方を選択したり、取り組んだことを振り返ったりする活動を充実できるように、多様な学習方法を共有するとともに、ICTでは伝わらない生演奏の臨場感は、教師や児童自身の演奏を重視できるようにする。
- 題材を通じて学習の成果を実感できるように、学習改善に生かす場面の演奏をICT端末等で録画して、本時の演奏と比較する。